

# 科目「農業と環境」

沖縄県立久米島高等学校

|         |        |                 |              |
|---------|--------|-----------------|--------------|
| 単位数:4単位 | 学年:1学年 | 教科書:農業と環境(実教出版) | 年間授業時数:140時間 |
|---------|--------|-----------------|--------------|

## 1 学習の目標

- (1)草花及び野菜栽培、飼育などの体験的・探求的な学習を通して、農業に関する基礎的な知識と技術を習得する。
- (2)農業及び農業学習について興味・関心を高める。
- (3)観察、記録や調査などの探求的な学習活動を通して科学的思考力と問題解決能力を伸ばす。
- (4)農業の各分野の発展を図る実践力を育成し、課題解決型学習の面白さを実感させる。

## 2 学習の進め方

- (1)草花分野では、季節の草花を学習の中心とし、繁殖方法、栽培管理、植物の生理について学習します。野菜分野では、季節の野菜を中心に栽培から販売に至る一連の学習を行います。
- (2)飼育分野においては、鶏舎の管理を中心に家畜の意義と命の大切さを学習します。学習環境分野においては、土壌や水質の調査、久米島の生態系などの学習を行います。
- (3)四季の草花は学校花壇及びプランター装飾を行います。また久米島町の行事と関連して栽培を行います。
- (4)記録は毎時間行います。本日の授業内容 → 座学・実習 → まとめ → 記録の確認の流れで授業を展開します。毎時間筆記用具を必ず準備します。

## 3 学習する上での留意点

- (1)農具の名称や取り扱い方を学習します。
- (2)専門用語やその意味を理解します。
- (3)草花及び野菜の品種名や栽培管理法を学習します。
- (4)実習ではグループ学習が中心となります。自主性、協調性、責任感を身につけましょう。
- (5)農場での苗の段階、花壇及びプランターへの定植後も観察を行い、自分たちの育てている草花にいつでも関心を持ちましょう。
- (6)実習のさいは実習服を着用し、ケガや事故の無いよう注意します。

## 4 課題・補習について

各学期末に草花の栽培管理について記録用紙もしくはレポートを提出します。そのためにも記録をしっかりと行って下さい。

## 5 評価の観点・方法について

| 評価の観点      | 内 容   | 評価方法   |
|------------|---|--|
| 知識・技術      | ①農具の取り扱いが適切であるか。<br>②野菜・草花の栽培や鶏の飼育から加工・鶏舎の施設管理について基礎的な技術を身につけているか。<br>③指導内容どおり、草花の鉢上げや定植ができているか。<br>④農業についての基礎的な知識や技術を身につけているか。<br>⑤草花・野菜の特性や栽培環境、栽培技術や鶏の特性、飼育、環境管理について基礎的な知識を身につけているか。 | 農具の取り扱い方<br>草花の鉢上げ及び定植<br>実技試験<br>中間考査<br>期末考査 |
| 思考・判断・表現   | ①記録用紙の自己評価に客観的な判断がなされているか。<br>②実験や実習の記録がきちんと整理され、結果に対する考察が十分であるか。   | 学習記録用紙の自己評価内容<br>レポート                          |
| 自主的に取り組む態度 | ①農業や草花栽培に興味・関心が高く、責任をもって取り組んでいるか。<br>②実験・実習に主体的に参加し、意欲的に取り組んでいるか。<br>③グループの生徒と協調性をもって実習に望んでいるか。   | 実習服、学習用具の準備<br>授業への取り組みや態度<br>学習記録用紙への記入       |

# 科目「総合実習」

沖縄県立久米島高等学校

|         |        |                 |             |
|---------|--------|-----------------|-------------|
| 単位数:2単位 | 学年:1学年 | 教科書:農業と環境(実教出版) | 年間授業時数:70時間 |
|---------|--------|-----------------|-------------|

## 1. 授業のねらい

この科目では、農業の各分野における総合的な技術について、体験的に学習させる科目であり、農業に関する各科目の学習と関連させて学習させる共通的な科目である。農業各分野の実験・実習など、実際の、体験的な学習を通して、各分野の体系化、総合化された技術を習得させ、経営や管理の改善に必要な管理能力と企画力、コミュニケーション能力などの実践的な能力と態度の育成を図る。

## 2. 授業の内容と進め方

総合学習の学習においては、農業各分野の基礎・基本を確実に定着させるための中核的な科目であるので、「農業と環境」や各分野の専門科目の学習と関連付けて行う。

科目「総合実習」の内容は、(1)農業の各分野に関する総合的な実習、(2)農業の各産業現場における総合的な実習、(3)農業クラブ活動の3つに重点を置いています。私達の農業の特質と産業としての農業の役割の重要性を理解させるとともに、農業の課題について考える場にしていく。

## 3. 学習する上での留意点

農業経営の学習では、学科の特色や科目の内容に応じて、栽培や飼育などについて時間割外の履修をさせ、実習の指導にあたっては、施設・設備の安全管理に配慮し、学習環境を整えるとともに、機械、薬剤などによる事故防止の指導を徹底し、安全と衛生に十分配慮する。

## 4. 課題・補講について

長期休業中に、指定した日程とパートナーを組んで、出校日を設けます。また、各学期ごとに時間外実習を補うための出校日も設定されます。また、その期間外での自主的なレポート、自主的な栽培管理に関するレポート提出は、評価に考慮する。

成績が不十分の場合は、補充、課題を実施します。

## 5. 評価の視点・考査について

評価は授業態度、課題及びレポート提出、出席状況を組み合わせて行います。時間外実習は1、2、3学期の授業態度、出席状況において100点満点で実施します。配点は、授業態度の60%、出席状況30%、課題及びレポート10%で行います。

| 評価の観点      | 内 容                                       | 評 価 方 法                        |
|------------|---|--------------------------------|
| 知識・技術      | 基礎・基本的な技術を身につけているか。<br>基礎・基本的な内容を理解しているか。 | 材料の取り扱い方<br>材料や作品の出来具合<br>定期考査 |
| 思考・判断・表現   | 実習の記録が整理され、結果に対する考察が十分であるか。               | レポート、実習記録簿                     |
| 自主的に取り組む態度 | 授業内容を理解し、主体的、計画的に取り組む意欲的に進めているか。          | 学習用具の準備、服装、授業への取り組みや態度         |

# 科目「総合実習」

沖縄県立久米島高等学校

|         |        |                   |              |
|---------|--------|-------------------|--------------|
| 単位数:3単位 | 学年:2学年 | 教科書:野菜・食品製造(実教出版) | 年間授業時数:105時間 |
|---------|--------|-------------------|--------------|

## 1. 授業のねらい

この科目では、農業の各分野における総合的な技術について、体験的に学習させる科目であり、農業に関する各科目の学習と関連させて学習させる共通的な科目である。農業各分野の実験・実習など実際の、体験的な学習を通して、各分野の体系化、総合化された技術を習得させ、経営や管理の改善に必要な管理能力と企画力、コミュニケーション能力などの実践的な能力と態度の育成を図る。

## 2. 授業の内容と進め方

総合学習の学習においては、野菜及び食品製造の基礎・基本を確実に定着させるための中核的な科目であるので、「野菜」「食品製造」や各分野の専門科目の学習と関連付けて行う。

科目「総合実習」の内容は、(1)農業の各分野に関する総合的な実習、(2)農業の各産業現場における総合的な実習、(3)農業クラブ活動の3つに重点を置いています。私達の農業の特質と産業としての農業の役割の重要性を理解させるとともに、農業の課題について考える場にしていく。

## 3. 学習する上での留意点

農業経営の学習では、学科の特色や科目の内容に応じて、栽培や食品製造などについて時間割外の履修をさせ、実習の指導にあたっては、施設・設備の安全管理に配慮し、学習環境を整えるとともに、機械、薬剤などによる事故防止の指導を徹底し、安全と衛生に十分配慮する。

## 4. 課題・補講について

長期休業中に、指定した日程とパートナーを組んで、出校日を設けます。また、各学期ごとに時間外実習を補うための出校日も設定されます。また、その期間外での自主的なレポート、自主的な栽培管理に関するレポート提出は、評価に考慮する。成績が不十分の場合は、補充、課題を実施します。

## 5. 評価の視点・考査について

評価は授業態度、課題及びレポート提出、出席状況を組み合わせて行います。時間外実習は1、2、3学期の授業態度、出席状況において100点満点で実施します。配点は、授業態度の60%、出席状況30%、課題及びレポート10%で行います。

| 評価の観点      | 内 容                                       | 評 価 方 法                        |
|------------|---|--------------------------------|
| 知識・技術      | 基礎・基本的な技術を身につけているか。<br>基礎・基本的な内容を理解しているか。 | 材料の取り扱い方<br>材料や作品の出来具合<br>定期考査 |
| 思考・判断・表現   | 実習の記録が整理され、結果に対する考察が十分であるか。               | レポート、実習記録簿                     |
| 自主的に取り組む態度 | 授業内容を理解し、主体的、計画的に取り組む意欲的に進めているか。          | 学習用具の準備、服装、授業への取り組みや態度         |

# 科目「総合実習」

沖縄県立久米島高等学校

|         |        |                   |              |
|---------|--------|-------------------|--------------|
| 単位数:3単位 | 学年:3学年 | 教科書:野菜・食品製造(実教出版) | 年間授業時数:105時間 |
|---------|--------|-------------------|--------------|

## 1. 授業のねらい

この科目では、農業の各分野における総合的な技術について、体験的に学習させる科目であり、農業に関する各科目の学習と関連させて学習させる共通的な科目である。農業各分野の実験・実習など実際の、体験的な学習を通して、各分野の体系化、総合化された技術を習得させ、経営や管理の改善に必要な管理能力と企画力、コミュニケーション能力などの実践的な能力と態度の育成を図る。

## 2. 授業の内容と進め方

総合学習の学習においては、野菜及び食品製造の基礎・基本を確実に定着させるための中核的な科目であるので、「野菜」「栽培と加工」等の各分野の専門科目の学習と関連付けて行う。

科目「総合実習」の内容は、(1)農業の各分野に関する総合的な実習、(2)農業の各産業現場における総合的な実習、(3)農業クラブ活動の3つに重点を置いています。私達の農業の特質と産業としての農業の役割の重要性を理解させるとともに、農業の課題について考える場にしていく。

## 3. 学習する上での留意点

農業経営の学習では、学科の特色や科目の内容に応じて、栽培や加工などについて時間割外の履修をさせ、実習の指導にあたっては、施設・設備の安全管理に配慮し、学習環境を整えるとともに、機械、薬剤などによる事故防止の指導を徹底し、安全と衛生に十分配慮する。

## 4. 課題・補講について

長期休業中に、指定した日程とパートナーを組んで、出校日を設けます。また、各学期ごとに時間外実習を補うための出校日も設定されます。また、その期間外での自主的なレポート、自主的な栽培管理に関するレポート提出は、評価に考慮する。成績が不十分の場合は、補充、課題を実施します。

## 5. 評価の視点・考査について

評価は授業態度、課題及びレポート提出、出席状況を組み合わせて行います。時間外実習は1、2、3学期の授業態度、出席状況において100点満点で実施します。配点は、授業態度の60%、出席状況30%、課題及びレポート10%で行います。

| 評価の観点      | 内 容                                       | 評 価 方 法                        |
|------------|---|--------------------------------|
| 知識・技術      | 基礎・基本的な技術を身につけているか。<br>基礎・基本的な内容を理解しているか。 | 材料の取り扱い方<br>材料や作品の出来具合<br>定期考査 |
| 思考・判断・表現   | 実習の記録が整理され、結果に対する考察が十分であるか。               | レポート、実習記録簿                     |
| 自主的に取り組む態度 | 授業内容を理解し、主体的、計画的に取り組む意欲的に進めているか。          | 学習用具の準備、服装、授業への取り組みや態度         |

# 科目「植物バイオテクノロジー」 沖縄県立久米島高等学校

|         |        |                 |             |
|---------|--------|-----------------|-------------|
| 単位数:2単位 | 学年:1学年 | 教科書:植物バイオテクノロジー | 年間授業時数:70時間 |
|---------|--------|-----------------|-------------|

## 1 学習の目標

- (1)植物バイオテクノロジーに対する、自主的に取り組む態度を育てる。
- (2)無菌操作などの体験的な学習を通して、植物体のもつ分化全能性などの特性を理解する。
- (3)植物バイオテクノロジーの技術的特質について理解させる。
- (4)無菌操作、培養、順化等に関する知識と技術を習得させる。

## 2 学習の進め方

- (1)植物バイオテクノロジーの基礎知識を授業で学ぶ。
- (2)実験をとおして、植物バイオテクノロジーで重要な無菌操作について学ぶ。
- (3)各種園芸植物を使用して、実験を繰り返し、実験ノートにまとめる。

## 3 学習する上での留意点

- (1)実験機器や器具の名称及び取り扱い方を学ぶ。
- (2)薬品類の名称や取り扱い方をしっかりと学習する。
- (3)専門用語やその意味をしっかりと学習する。
- (4)培地作成などの実験・実習はグループ学習が中心となります。自主性、協調性、責任感を身につける。
- (5)実験・実習のさいは白衣を着用し、ケガや事故の無いよう注意します。

## 4 課題・補習について

1学期ランの交配、2学期無菌播種から継代移植、3学期全体のまとめのレポートを提出します。

## 5 評価の観点・方法について

| 評価の観点      | 内 容   | 評 価 方 法                                      |
|------------|---|--|
| 知識・技術      | ①実験機器・器具の取り扱いが適切であるか。<br>②交配や無菌操作について基礎的な技術を身につけているか。<br>③指導項目及び手順に沿って、培地作成ができるか。<br>④植物バイオテクノロジーについての基礎的な知識や技術を身につけているか。<br>⑤ランの特性や栽培環境、栽培技術について基礎的な知識を身につけているか。 | 実験機器・器具の取り扱い方<br>無菌操作の手順<br>実技試験中間考査<br>期末考査 |
| 思考・判断・表現   | ①記録用紙の自己評価に客観的な判断がなされているか。<br>②実験や実習の記録がきちんと整理され、結果に対する考察が十分であるか。   | 学習記録用紙の自己評価内容<br>レポート                        |
| 自主的に取り組む態度 | ①植物の持つ能力に興味・関心が高く、意欲的に取り組んでいるか。<br>②実験・実習に主体的に参加し、意欲的に取り組んでいるか。<br>③実験機器・器具類の取り扱いと片づけができているか。<br>③グループの生徒と協調性をもって実習に望んでいるか。                                       | 学習用具の準備<br>授業への取り組みや態度<br>学習記録用紙への記入         |

# 科目「植物バイオテクノロジー」 沖縄県立久米島高等学校

|         |        |                 |             |
|---------|--------|-----------------|-------------|
| 単位数:2単位 | 学年:2学年 | 教科書:植物バイオテクノロジー | 年間授業時数:70時間 |
|---------|--------|-----------------|-------------|

## 1 学習の目標

- (1)植物バイオテクノロジーに対する、自主的に取り組む態度を育てる。
- (2)無菌操作などの体験的な学習を通して、植物体のもつ分化全能性などの特性を理解する。
- (3)植物バイオテクノロジーの技術的特質について理解させる。
- (4)無菌操作、培養、順化等に関する知識と技術を習得させる。

## 2 学習の進め方

- (1)植物バイオテクノロジーの基礎知識を授業で学ぶ。
- (2)実験をとおして、植物バイオテクノロジーで重要な無菌操作について学ぶ。
- (3)各種園芸植物を使用して、実験を繰り返し、実験ノートにまとめる。

## 3 学習する上での留意点

- (1)実験機器や器具の名称及び取り扱い方を学ぶ。
- (2)薬品類の名称や取り扱い方をしっかりと学習する。
- (3)専門用語やその意味をしっかりと学習する。
- (4)培地作成などの実験・実習はグループ学習が中心となります。自主性、協調性、責任感を身につける。
- (5)実験・実習のさいは白衣を着用し、ケガや事故の無いよう注意します。

## 4 課題・補習について

1学期ランの交配、2学期無菌播種から継代移植、3学期全体のまとめのレポートを提出します。

## 5 評価の観点・方法について

| 評価の観点      | 内 容   | 評 価 方 法                                      |
|------------|---|--|
| 知識・技術      | ①実験機器・器具の取り扱いが適切であるか。<br>②交配や無菌操作について基礎的な技術を身につけているか。<br>③指導項目及び手順に沿って、培地作成ができるか。<br>④植物バイオテクノロジーについての基礎的な知識や技術を身につけているか。<br>⑤ランの特性や栽培環境、栽培技術について基礎的な知識を身につけているか。 | 実験機器・器具の取り扱い方<br>無菌操作の手順<br>実技試験中間考査<br>期末考査 |
| 思考・判断・表現   | ①記録用紙の自己評価に客観的な判断がなされているか。<br>②実験や実習の記録がきちんと整理され、結果に対する考察が十分であるか。   | 学習記録用紙の自己評価内容<br>レポート                        |
| 自主的に取り組む態度 | ①植物の持つ能力に興味・関心が高く、意欲的に取り組んでいるか。<br>②実験・実習に主体的に参加し、意欲的に取り組んでいるか。<br>③実験機器・器具類の取り扱いと片づけができているか。<br>③グループの生徒と協調性をもって実習に望んでいるか。                                       | 学習用具の準備<br>授業への取り組みや態度<br>学習記録用紙への記入         |

## 「野菜」シラバス

|       |          |     |     |
|-------|----------|-----|-----|
| 科目名   | 野菜       | 単位数 | 4単位 |
| 学科    | 園芸科      | 学年  | 2年  |
| 使用教科書 | 野菜（実教出版） | 副教材 | —   |

### 1 「野菜」こんな科目です（科目の概要と到達目標）

この科目は、野菜の生産と経営について学ぶ農業分野の科目です。この科目は2年生の技術コースが2単位、履修します。「野菜」では、農業の見方や考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、野菜の生産と経営に必要な資質・飼育を育成することを目指す科目です。また、現代における様々な農業や環境に関する問題や、地域の農業についても学習していきます。

### 2 「野菜」の特色ある学習方法

#### 特色ある学習方法

1. 農業生産物の栽培、収穫、販売までの一連の過程を全員が体験します。
2. 実習を通して、「食」に関する幅広い知識・技術の習得、団結する協調性が身に付き、生産物を生産する農業の勤労観を学びます
3. 時間内にできない場合は、放課後等で行い責任感を持たせます。
4. 実習中はメモを取る習慣を身につけ、内容の見直しや整理をさせ、反復実習に活用します。
5. 実習後はその日の内容・反省を書いた記録簿を提出し、知識・技術の習得を目指します。

### 3 「野菜」の評価

1. 身なり（実習服着用状態）
2. 授業態度（準備の様子・協力体制・清掃の様子）
3. 授業以外の活動の態度
4. 提出物（振り返りシート、レポート、実習記録簿）
5. 定期考査 以上の事項を総合的に判断し評価します。

評価は、「知識・技能（技術）」「思考・判断・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」（3観点）をA：十分満足できる、B：おおむね満足できる、C：努力を要する、で表します。さらに、3観点を次の割合で点数化し、5段階評価を行います。

| 評価の観点 | 知識・技能(技術) | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|-------|-----------|----------|---------------|
| 比重    | 1         | 1        | 1             |

## 4 実習で大切なこと

1. 全員で協力して実習に取り組んでください。
2. 実習ではいろいろな機械や道具を使用しますので安全のため、指導者の指示に従い、正しく使用してください。
3. 私たちは常に、生き物の「命」を預かっているという事を考えながら実習に取り組んでください。
4. 実習で収穫した野菜は、自分たちの手で販売することで、消費者に感謝の気持ちをもって接してください。
5. 実習をするにあたって5S活動（整理・整頓・清潔・清掃・躰）を積極的に取り組んでください。
6. 常に周りの行動を把握し、次の手を判断して行動できる段取力を身につけてください。

### 学習目標

農業生物の育成についての体験的な学習を通して命の大切さ、農業に関する基礎的な知識と技術を習得させ、農業及び農業学習についての興味・関心を高めるとともに、問題解決の能力を伸ばし、農業及び環境に関する基礎的な知識と技術を習得させ、農業の各分野で活用する能力と態度を育てる。

### 学習の計画（どのような内容をどの時期に学ぶのか）

| 学習内容  | 期                 | 月                   | 学 習 項 目   |
|---|-------------------|---------------------|---|
| 1. 「野菜」とプロジェクト学習<br>2. 野菜生産の役割と動向<br>3. 果実を利用する野菜の栽培<br>4. 野菜の生育特性と栽培環境 | 1<br>学<br>期       | 4<br>5<br>6<br>7    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクト学習の進め方</li> <li>・野菜の分類・栄養素や安全性などの知識</li> <li>・キュウリ栽培に関する知識・技術</li> <li>・野菜の播種から収穫までの生育過程</li> </ul> |
| 夏 期 休 業   |                   |                     |   |
| 5. 野菜の育苗<br>6. 茎や葉を利用する野菜の栽培<br>7. 根を利用する野菜の栽培                          | 2<br>学<br>期       | 9<br>10<br>11<br>12 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・育苗の目的と良い苗のと理解する</li> <li>・レタス・ホウレンソウ栽培に関する知識・技術</li> <li>・ニンジン栽培に関する知識・技術</li> </ul>                      |
| 8. 野菜の流通と経営改善<br>9. 学習のまとめと農業クラブ  | 3<br>学<br>期       | 1<br>2<br>3         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜の流通期間と党勢に関する知識・技術</li> <li>・学実際に栽培した野菜の栽培記録のまとめ</li> </ul>  |
| <b>使用教材など</b>   | 教科書・プリント・各種実習器具など |                     |   |



# 科目「野菜」

沖縄県立久米島高等学校

## 1. 授業のねらい

- ①野菜栽培の体験的・探求的な学習を通して、農業に関する基礎的な知識と技術を習得する。
- ②野菜栽培について興味・関心を高める。
- ③観察、記録などの探求的な学習活動を通して科学的思考力と問題解決能力を伸ばす。

## 2. 授業の内容と進め方

- ①野菜生産の役割と動向について学習します。
- ②野菜の特性と栽培技術について実習を通して学習していきます。
- ③沖縄の気候にあった野菜を中心に、栽培方法、管理方法について座学や実習を行い学習します。
- ④野菜生産の環境について学習していきます。

## 3. 学習する上での留意点

- ①使用する農機具の名称及び取り扱い方を学びます。
- ②肥料や農薬などの名称や適切な使用方法を学びます。
- ③専門用語の意味をしっかりと学習します。
- ④実習はグループ学習が中心となります。自主性、協調性、責任感を身につけましょう。
- ⑤作物の観察記録を行い、自分たちの育てている野菜について関心を持ちましょう。
- ⑥実習時は実習服を着用し、ケガや事故の無いよう注意します。

## 4. 課題・補講について

- ①長期休業中に、指定した文献の中から本を読みレポート提出を行う予定です。また、その期間外で自主的なレポート、自主的な栽培管理に関するレポート提出も歓迎。
- ②成績が不十分の場合は、補充、課題を実施します。

## 5. 評価の観点・方法について

| 評価の観点        | 内 容   | 評価方法                                     |
|--------------|---|--|
| 関心・意欲・<br>態度 | ①野菜栽培に興味・関心が高く、責任をもって取り組んでいるか。<br>②実習に主体的に参加し、意欲的に取り組んでいるか。<br>③グループの生徒と協調性をもって実習に望んでいるか。 | 実習服、学習用具の準備<br>授業への取り組みや態度<br>学習記録用紙への記入 |
| 思考・判断・<br>表現 | ①記録用紙の自己評価に客観的な判断がなされているか。<br>②実験や実習の記録がきちんと整理され、結果に対する考察が十分であるか。                         | 学習記録用紙の自己評価<br>内容<br>レポート                |
| 技能           | ①農器具の取り扱いが適切であるか。<br>②野菜の栽培について基礎的な技術を身につけているか。<br>③指導内容どおり、野菜の播種や鉢上げ、定植ができているか。          | 農具の取り扱い方<br>野菜の播種、鉢上げ及び<br>定植<br>実技試験    |
| 知識・理解        | ①野菜についての基礎的な知識や技術を身につけているか。<br>②野菜の特性や栽培環境、栽培技術について基礎的な知識を身につけているか。                       | 中間考査<br>期末考査                             |

## 「食品製造」シラバス

|       |            |     |        |
|-------|------------|-----|--------|
| 科目名   | 食品製造       | 単位数 | 4単位    |
| 学 科   | 園芸科        | 学年  | 2年     |
| 使用教科書 | 食品製造（実教出版） | 副教材 | 自作プリント |

### 「食品製造」とはこんな科目です（科目の概要と到達目標）

この科目は、食品加工の原理と方法、主な食品の加工と貯蔵など、食品の製造について学習する科目であり、主として食料に関する分野の科目です。

この科目は2・3年生の加工コースで学年ごとに各4単位、履修します。

「食品製造」では、農産加工と畜産加工の各分野を幅広く学習します。

加工コースが学ぶ2年の「食品製造」では穀類の加工を中心に学習します。農産加工食品の体験的・継続的な製造実習と、観察・実験・調査・記録などの学習活動を通して原料となる穀類の成分の特徴と加工特性及び原理を理解させ、農産物の加工と貯蔵に関する基本的・体系的な知識と技術の習得を目指しています。

### 「食品製造」の特色ある学習方法

#### 特色ある学習方法

1. 週4時間の授業を各2時間に分けて授業を行います。
2. 2時間は理論（座学）を行い、理論を元に加工実習の授業展開をし、販売学習まで行います。
3. 授業形態は基本的に6次産業化を目指した授業展開をしていきます。
4. グループに分けて実習に取り組みます。
5. 時間内にできない場合は、放課後等で行い、責任感を持たせます。

### 「食品製造」の評価

1. 身なり（実習服着用状態）
2. 授業態度（準備の様子・協力体制・清掃の様子）
3. 授業以外の活動の態度
4. 提出物（振り返りシート、レポート、実習記録簿）
5. 定期考査 以上の事項を総合的に判断し評価します。

評価は、「知識・技能（技術）」「思考・判断・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」（3観点）を  
A：十分満足できる、B：おおむね満足できる、C：努力を要する、で表します。さらに、3観点を  
次の割合で点数化し、5段階評価を行います。

| 評価の観点 | 知識・技能(技術) | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|-------|-----------|----------|---------------|
| 比重    | 1         | 1        | 1             |

## 実習で大切なこと

1. 全員で協力して実習に取り組んでください。
2. 実習ではいろいろな食品製造用の機械や器具を使用しますので安全のため、指導者の指示に従い、正しく使用してください。
3. 食品衛生上、服装は清潔に保つように心がけてください。
4. 安全及び食品衛生上、実習服・エプロン・実習帽・長靴は必ず正しく着用してください。
5. 食品衛生上、つめが長い場合は、切ってください。また、実習前には必ず手洗いを励行してください。
6. 実習をするにあたって5S活動（整理・整頓・清潔・清掃・躰）を積極的に取り組んでください。

### 学習目標

食品製造に必要な基礎的・基本的な知識と技術を習得させます。また、食品の特性と加工の原理を製造実習と関連づけて理解させるとともに、品質と生産性の向上を図る能力と態度の形成を目指します。

### 学習の計画(どのような内容をどの時期に学ぶのか)

| 学習内容   | 期                 | 月                   | 学 習 項 目  |
|--|-------------------|---------------------|--|
| 1. 第1章 食品製造の意義と動向<br>2. 第4章 食品加工と食品衛生<br>3. 第2章 食品製造の基礎<br>実習：スモークチキンの製造 | 1<br>学<br>期       | 4<br>5<br>6<br>7    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品製造の意義、食品産業の現状と動向</li> <li>・食品衛生と食中毒</li> <li>・食品の安全確保と食品添加物</li> <li>・食品の分類と科学</li> <li>・スモークチキンの製造</li> </ul>                       |
| 夏 期 休 業  |                   |                     |  |
| 4. 第3章 食品の変質と貯蔵<br>5. 第6章 農産物の加工<br>実習：菓子パンの製造<br>調理パンの製造<br>ローストチキンの製造  | 2<br>学<br>期       | 9<br>10<br>11<br>12 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品の変質とその原因</li> <li>・食品の貯蔵法</li> <li>・穀類の加工</li> <li>・パンの製造（菓子パン、紅イモ・田イモ・小倉）</li> <li>・製菓（絞り出しクッキー）の製造</li> <li>・ローストチキンの製造</li> </ul> |
| 実習：パンの製造<br>各種ケーキの製造   | 3<br>学<br>期       | 1<br>2<br>3         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・パンの製造（手ごね、菓子、調理パン）</li> <li>・各種ケーキ（シフォンケーキ、ガトーショコラ、マフィンケーキ）</li> </ul>   |
| <b>使用教材など</b>  | 教科書・プリント・各種実習器具など |                     |  |

### 生徒の皆さんへ再確認

\*授業が始まって25分までは、遅刻。それ以降は欠課になります。

\*定期テスト・提出物（授業ファイル・製造レポート）・授業態度・身に付けることができた技術で成績を評価します。

令和5年度 栽培と加工シラバス

沖縄県立久米島高等学校  
園芸科

科目の目標

- ①品目、品種の特性を踏まえた作物の安定生産と地域環境に適した栽培技術の習得、作物の機能性を生かした加工食品の開発に努める知識や技術を習得する能力と態度を育てる。
- ②食品製造に必要な知識と技術を習得させ、加工食品と原材料の性質を理解させるとともに、生産原理の合理化を図る能力と態度を育てる。
- ③食品製造の社会性、経済的な意義を理解し、地域の食品加工の実態を理解させる。

| 学期      | 月                   | 単元名・教材名                     | 配当<br>時間       | 指導事項  |                |   | 指導上の留意点  | 評価の観点                               |
|---------|---------------------|-----------------------------|----------------|---|----------------|---|--|-------------------------------------|
|         |                     |                             |                | 講義  | 時数             | 実験・実習<br>時数   |  |                                     |
| 1<br>学期 | 4                   | 食品の変質と貯蔵法                   | 1 2            | ①食品の変質とその原因<br>②食品の貯蔵法  | 1 2            |   | ①生鮮食品と加工食品の特性を理解させる<br>②加工食品の貯蔵方法について調べる   | 関心・意欲<br>態度・技能・表現<br>知識・理解          |
|         | 5                   | 食品加工と食品衛生                   | 2 0            | ①食品と食品衛生<br>・食品衛生とは・行政と法律<br>②食中毒<br>・食中毒とは・その分類  | 8              | ・果菜類の畑作りや栽培環境実習<br>・葉野菜類の畑作りや栽培環境実習   | ①果菜類の基本的栽培方法や栽培環境作りについて理解させる<br>②葉野菜類の栽培環境作りについて理解させる  | 関心・意欲<br>態度・技能・表現                   |
|         | 6                   | 農産物の加工<br><br>鶏肉の加工         | 9<br><br>1 3   | ①穀類の加工<br>・パン・菓子類の製造方法の学習<br>②野菜類の加工<br>・野菜類の特徴とその加工品<br>③鶏肉の加工特性<br>鶏肉の特性、製造工程についての学習                    | 6<br><br>3     | ・パンや菓子類の製造実習<br>パンや菓子類の製造及び保存方法について理解させる<br>・野菜類の加工及び貯蔵法の実習<br>・スモークチキンの製造<br>殺→解体→塩漬→塩抜き→整形→湯煮→乾燥→燻煙→冷却→製品   | ①パンや菓子類の製造の違いや保存方法について理解させ各工程について指導を行う<br>②野菜類の加工品の製造方法の習得<br>③スモークチキン製造の仕方を学ばせ製造行程を理解させる  | 関心・意欲・態度<br>技能・表現<br>思考・判断<br>知識・理解 |
| 2<br>学期 | 9<br>10<br>11<br>12 | 畜産物の加工<br><br>農産物の特性を生かした加工 | 4 0<br><br>2 1 | ①肉類の加工<br>・肉の成分と加工特性の学習<br>②豚肉の加工 ③鶏肉の加工<br>④鶏卵の加工特性⑤味付け卵の製造<br>⑥マヨネーズの製造<br><br>①収穫作物を生かした加工<br>②野菜の加工基礎 | 1 6<br><br>1 4 | ・ハンバーグ製造実習<br>ハンバーグの製造方法及び肉の種類による製造実習を行う<br>・マヨネーズの製造<br>鶏卵の特性を十分に理解させ、製造方法の工程の確立を図り、色々なマヨネーズ製造実習を理解させ各工程の仕方や時間などを細かく指導<br><br>・野菜の加工の基礎を理解させ野菜の特性を生かした加工実習を行う<br>・野菜の加工について理解させる | ①ハンバーグの製造方法について理解させ、製造工程の習得と技術の習得を図る<br>②市販のマヨネーズの種類や成分の違いを理解させ製造するマヨネーズの工法を学ばせる。<br>③卵の一般的性質を理解させる<br><br>①野菜の加工工程について理解させ、野菜の特性を利用した加工品の製造について学ばせる | 関心・意欲・態度<br>技能・表現<br>思考・判断<br>知識・理解 |
|         | 1<br>2<br>3         | 食品添加物                       | 1 4            | 食品製造行政の仕組み<br>①食品衛生法<br>②添加物の使用<br>③食品製造関係法規  | 1 4            |   | ①食品製造の畜産加工分野における行政の仕組みを理解させる<br>②食品添加物の取扱と加工の際の使用上の注意とその効用を理解させる   | 関心・意欲。<br>態度・技能・表現                  |
|         | 計35週                |                             | 1 4 0          | 講義時間  | 7 3            | 実習時数  | 6 7  |                                     |

# 科目「生物活用」

|         |        |             |                |
|---------|--------|-------------|----------------|
| 単位数：2単位 | 学年：3学年 | 年間授業時数：70時間 | 教科書：生物活用(実教出版) |
|---------|--------|-------------|----------------|

## 1. 授業のねらい

この科目では、園芸作物を中心とした草花などの植物を活用して、地域と地域農業の実態、学科の目標や特色、生徒の必要性に適したものである。このように、身近な暮らしの場における植物の栽培等をとおして、それらとの関わりを見つめ直すことが大切であり、また、そこでの感動や発見をこれからの生活の良い糧とする。そして、それを基に交流活動をとおして各種学校や地域の人々が共有できるようにする。

## 2. 授業の内容と進め方

生物活用の学習においては、園芸作物の体験的、継続的な栽培、管理、活用に関する実習などを通して、園芸作物のもつ特性、園芸活動や園芸デザインの活動が及ぼす健康上の効果及び園芸セラピーの特性を理解させ、園芸作物の活用に関する基本的、体系的な知識と技術を習得させる。科目「生物活用」の内容は、(1)生物活用の意義と役割、(2)園芸作物の栽培と活用、(3)社会動物の飼育と活用、(4)健康の改善と生活の質の向上、この4つに重点を置いています。それは、私達が今後の生産技術者としての様々な課題にどう対応していくか考える場にしていく。

## 3. 学習する上での留意点

生物活用の学習では、「心の豊かさ」を重視して園芸活動などとの触れ合いを通してゆとりややすらぎを得る体験の場として園芸作物などの活用について学習させる。そして、実際の・体験的な学習を重視して、実践力を体得させることとして、実習を通して園芸活動などの交流において園芸作物などを有効に活用する実践力を育てることとする。

## 4. 課題・補講について

長期休業中に、指定した文献の中から本を読みレポート提出を行う予定です。また、その期間外での自主的なレポート、自主的な栽培管理に関するレポート提出も大歓迎です。成績が不十分の場合は、補充、課題を実施します。

## 5. 評価の観点・方法について

評価は考査、課題及びレポート提出、授業態度・出席状況を組み合わせて行います。考査は1、2、3学期の中間・期末、学年末考査の年5回。各100点満点で実施します。配点は、考査6回の平均点の60%、課題及びレポート提出30%、授業態度・出席状況10%で行います。

| 評価の観点    | 内 容   | 評 価 方 法                              |
|----------|---|--------------------------------------|
| 関心・意欲・態度 | ①草花の新たな利用に関心を持ち、生物活用の知識や技術を取り入れようとする意欲を持ち、授業中の課題や作業に積極的に取り組む態度を身につけているか。<br>②授業に主体的に参加し、意欲的に取り組んでいるか。<br>③グループの生徒と協調性をもって実習に望んでいるか。 | 学習用具の準備<br>授業への取り組みや態度<br>学習記録用紙への記入 |
| 思考・判断・表現 | ①記録用紙の自己評価に客観的な判断がなされているか。<br>②授業の記録がきちんと整理され、結果に対する考察が十分であるか。  | 学習記録用紙の自己評価<br>内容<br>レポート            |
| 技能       | ①植物の活用・フラワーアレンジメントなどのデザインまたは創作する技能を身につけているか。<br>②園芸作業の基本技術が身に付いている。   | 材料の取り扱い方<br>材料や作品の出来具合               |
| 知識・理解    | ①生物活用についての基礎的な知識や技術を身につけているか。<br>②園芸植物に対して、その特徴や栽培技術、生物活用分野での利用法の知識を身につけ、私たちの生活の場との関わりを理解している。                                      | 中間考査<br>期末考査                         |

# 科目「農業機械」

|         |        |             |                |
|---------|--------|-------------|----------------|
| 単位数：2単位 | 学年：3学年 | 年間授業時数：70時間 | 教科書：農業機械(実教出版) |
|---------|--------|-------------|----------------|

## 1. 授業のねらい

この科目は、農業機械の取り扱い、維持管理及び利用についての学習科目である。実習を通して、機械の構造と作業特性の相互関係から機械の点検方法について理解する。また、機械を実際に動かすことで、それらを安全に利用できる能力と態度を育成する。

さらに、地域農業の実際を把握したうえで、適切な農業機械を選定できる能力や機会及び燃料を適切に利用できる能力を育成する。

## 2. 授業の内容と進め方

地域における農業機械の利用状況などの具体的な事例をとおして、農業機械の合理的な利用について学習させ、農業の生産性の向上と農業機械化の相互関係を理解させるとともに、農業機械の操作と利用に関心をもたせる。科目「農業機械」の内容は、(1)農業機械の役割、(2)農業機械の操作、(3)農業機械の構造と整備、(4)農業生産と農業機械の利用の4つに重点を置いています。それは、私達が今後の生産技術者としての様々な課題にどう対応していくか考える場にしていく。

農業機械の学習に置いては、実際の・体験的な学習を重視し、実践力を習得させる観点から、実験・実習をとおして機械の構造と作業特性の相互関係から機械の点検方法について理解させる。

## 3. 学習する上での留意点

農業機械の学習では、原動機、トラクタ及び作業機の構造と整備について学習させ、各種装置の作動原理と構造を理解させ、整備に必要な基本的、体系的な知識と技術を習得させる。そして、学校農場や地域農業の身近な事例をとおして、農業機械の作業能率と利用経費について理解させ、農業機械の効率的な利用に必要な知識と技術を習得させるとともに、具体的な農業機械化体系を作ることができる能力と態度を育成する。

## 4. 課題・補講について

長期休業中に、指定した文献の中から本を読みレポート提出。また、その期間外での自主的なレポート、自主的な栽培管理に関するレポート提出。成績が不十分の場合は、補充、課題を実施。

## 5. 評価の視点・考査について

| 評価の観点    | 内 容  | 評 価 方 法                     |
|----------|--|-----------------------------|
| 関心・意欲・態度 | ①実験・実習に主体的に参加し、意欲的に取り組んでいるか。<br>②グループの生徒と協調性をもって実習に望んでいるか。     | ・授業への取り組みや態度<br>・学習記録用紙への記入 |
| 思考・判断・表現 | ①記録用紙の自己評価に客観的な判断がなされているか。<br>②実習の記録がきちんと整理され、結果に対する考察が十分であるか。 | ・学習記録用紙の自己評価内容<br>・レポート     |
| 技能       | ①トラクタの運転及び・耕耘が身についているか。<br>②アーク溶接が身についているか。                    | ・実技の習得                      |
| 知識・理解    | ①基礎・基本的な技術を身に付けているか。   | ・定期考査                       |

# 科目「課題研究」

沖縄県立久米島高等学校

|          |         |              |              |
|----------|---------|--------------|--------------|
| 単位数:2 単位 | 学年:1 学年 | 問題集:日本農業技術検定 | 年間授業時数:35 時間 |
|----------|---------|--------------|--------------|

## 1. 授業のねらい

この科目では、農業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図ると共に、問題解決能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。生徒の自己理解を支援し、個々の学習進度を推進する農業関連の資格習得に繋げた学習を図る科目である。農業の各分野及びその学習に必要な問題解決の能力、自発的、創造的な学習態度及び自己教育力などの育成をねらいとする。

## 2. 授業の内容と進め方

課題研究の学習においては、農業各分野の将来のスペシャリストに必要な問題解決の能力や自己教育力などを育成する際の中核的な科目であることから、農業と環境の生産に関連した栽培を生かし、自ら課題を設定し、有効な活用などに関して問題の解決に向けた学習方法を学ぶ。日本農業技術検定を生かした資格学習を柱に、農業の基本的な知識と技術を習得し、生徒の自己肯定感を養う学習に繋げる。また、指導にあたっては、生徒の学習を支援する観点に立つて行うことが大切である。

科目「課題研究」の内容は、(1)調査、研究、実験、(2)作品作成、(3)産業現場などにおける実習、(4)職業資格の取得、(5)学校農業クラブ活動の5つに重点を置いています。それは、生徒が自ら設定する農業に関する課題が学習内容になるようにする。

## 3. 学習する上での留意点

課題研究の学習では、生徒が興味を持てる事象や問題を発見し、課題設定して、その解決を図る学習を通して、目的意識や継続の大切さを理解し、自ら計画し、実施、検証する能力を育成することが望ましい。生徒が学習の目的や課題を意識して実施し、活動の過程や成果を自ら分析し、まとめ、発表することが大切である。

## 4. 課題・補講について

自ら設定した課題を、自ら解決することがこの科目の目的であるので、先生側からの課題は基本的には無いものとします。成績が不十分の場合は、補充、課題を実施します。

## 5. 評価の視点・考査について

| 評価の観点         | 内 容  | 評 価 方 法                              |
|---------------|--|--------------------------------------|
| 自主的に学習に取り組む態度 | ①植物の持つ能力に興味・関心が高く、意欲的に取り組んでいるか。<br>②実験・実習に主体的に参加し、意欲的に取り組んでいるか。<br>③グループの生徒と協調性をもって実習に望んでいるか。                                    | 学習用具の準備<br>授業への取り組みや態度<br>学習記録用紙への記入 |
| 思考・判断・表現      | ①記録用紙の自己評価に客観的な判断がなされているか。<br>②計画が建設的で、他関係機関と適切な関係を整えているか。<br>③実験や実習の記録がきちんと整理され、結果に対する考察が十分であるか。<br>④要所良くまとめられ、わかりやすいプレゼンができるか。 | 学習記録用紙の自己評価内容<br>レポート<br>課題研究発表会     |
| 知識・技術         | ① 適切実験機器・器具の取り扱いが適切であるか。<br>② プロジェクト学習に沿った基本的・基礎的な知識を身に付けているか。<br>③ 自ら実施研究の目的や内容について理解しているか。                                     | 実験機器・器具の取り扱い方<br>レポート<br>質疑応答        |

# 科目「課題研究」

沖縄県立久米島高等学校

|          |         |              |              |
|----------|---------|--------------|--------------|
| 単位数:2 単位 | 学年:2 学年 | 問題集:日本農業技術検定 | 年間授業時数:35 時間 |
|----------|---------|--------------|--------------|

## 1. 授業のねらい

この科目では、農業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図ると共に、問題解決能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。生徒の自己理解を支援し、個々の学習進度を推進する農業関連の資格習得に繋げた学習を図る科目である。農業の各分野及びその学習に必要な問題解決の能力、自発的、創造的な学習態度及び自己教育力などの育成をねらいとする。

## 2. 授業の内容と進め方

課題研究の学習においては、農業各分野の将来のスペシャリストに必要な問題解決の能力や自己教育力などを育成する際の中核的な科目であることから、農業と環境の生産に関連した栽培を生かし、自ら課題を設定し、有効な活用などに関して問題の解決に向けた学習方法を学ぶ。日本農業技術検定を生かした資格学習を柱に、農業の基本的な知識と技術を習得し、生徒の自己肯定感を養う学習に繋げる。また、指導にあたっては、生徒の学習を支援する観点に立つて行うことが大切である。

科目「課題研究」の内容は、(1)調査、研究、実験、(2)作品作成、(3)産業現場などにおける実習、(4)職業資格の取得、(5)学校農業クラブ活動の5つに重点を置いています。それは、生徒が自ら設定する農業に関する課題が学習内容になるようにする。

## 3. 学習する上での留意点

課題研究の学習では、生徒が興味を持てる事象や問題を発見し、課題設定して、その解決を図る学習を通して、目的意識や継続の大切さを理解し、自ら計画し、実施、検証する能力を育成することが望ましい。生徒が学習の目的や課題を意識して実施し、活動の過程や成果を自ら分析し、まとめ、発表することが大切である。

## 4. 課題・補講について

自ら設定した課題を、自ら解決することがこの科目の目的であるので、先生側からの課題は基本的には無いものとします。成績が不十分の場合は、補充、課題を実施します。

## 5. 評価の視点・考查について

| 評価の観点         | 内 容  | 評 価 方 法                              |
|---------------|--|--------------------------------------|
| 自主的に学習に取り組む態度 | ①植物の持つ能力に興味・関心が高く、意欲的に取り組んでいるか。<br>②実験・実習に主体的に参加し、意欲的に取り組んでいるか。<br>③グループの生徒と協調性をもって実習に望んでいるか。                                    | 学習用具の準備<br>授業への取り組みや態度<br>学習記録用紙への記入 |
| 思考・判断・表現      | ①記録用紙の自己評価に客観的な判断がなされているか。<br>②計画が建設的で、他関係機関と適切な関係を整えているか。<br>③実験や実習の記録がきちんと整理され、結果に対する考察が十分であるか。<br>④要所良くまとめられ、わかりやすいプレゼンができるか。 | 学習記録用紙の自己評価内容<br>レポート<br>課題研究発表会     |
| 知識・技術         | ① 適切実験機器・器具の取り扱いが適切であるか。<br>② プロジェクト学習に沿った基本的・基礎的な知識を身に付けているか。<br>③ 自ら実施した研究の目的や内容について理解しているか。                                   | 実験機器・器具の取り扱い方<br>レポート<br>質疑応答        |



# 科目「課題研究」

沖縄県立久米島高等学校

## 1. 授業のねらい

この科目では、自ら設定した農業に関する課題について、その解決を目指して学習させる科目である。課題を解決する学習を通して、農業の各科目で学習した専門的なこの知識と技術を関連付け、その深化、総合化を図るとともに、農業の各分野及びその学習に必要な問題解決能力、自発的、創造的な学習態度及び自己教育力などの育成をねらいとする。

## 2. 授業の内容と進め方

課題研究の学習においては、農業各分野の将来のスペシャリストに必要な問題解決の能力や自己教育力などを育成する際の中核的な科目であることから、プロジェクト学習や各分野の専門科目の学習と関連付けて行い、また、指導にあたっては、生徒の学習を支援する観点に立つて行うことが大切である。

科目「課題研究」の内容は、(1)調査、研究、実験、(2)作品作成、(3)産業現場などにおける実習、(4)職業資格の取得、(5)学校農業クラブ活動の5つに重点を置いています。それは、生徒が自ら設定する農業に関する課題が学習内容になるようにする。

## 3. 学習する上での留意点

課題研究の学習では、生徒が興味を持てる事象や問題を発見し、課題設定して、その解決を図る学習を通して、目的意識や継続の大切さを理解し、自ら計画し、実施、検証する能力を育成することが望ましい。生徒が学習の目的や課題を意識して実施し、活動の過程や成果を自ら分析し、まとめ、発表することが大切である。

## 4. 課題・補講について

自ら設定した課題を、自ら解決することがこの科目の目的であるので、先生側からの課題は基本的には無いものとします。成績が不十分の場合は、補充、課題を実施します。

## 5. 評価の視点・考査について

| 評価の観点    | 内 容  | 評 価 方 法                              |
|----------|--|--------------------------------------|
| 関心・意欲・態度 | ①植物の持つ能力に興味・関心が高く、意欲的に取り組んでいるか。<br>②実験・実習に主体的に参加し、意欲的に取り組んでいるか。<br>③グループの生徒と協調性をもって実習に望んでいるか。                                    | 学習用具の準備<br>授業への取り組みや態度<br>学習記録用紙への記入 |
| 思考・判断・表現 | ①記録用紙の自己評価に客観的な判断がなされているか。<br>②計画が建設的で、他関係機関と適切な関係を整えているか。<br>③実験や実習の記録がきちんと整理され、結果に対する考察が十分であるか。<br>④要所良くまとめられ、わかりやすいプレゼンができるか。 | 学習記録用紙の自己評価<br>内容<br>レポート<br>課題研究発表会 |
| 技能       | ①適切実験機器・器具の取り扱いが適切であるか。  | 実験機器・器具の取り扱い方                        |
| 知識・理解    | ①プロジェクト学習に沿った基本的・基礎的な知識を身に付けているか。<br>②自ら実施した研究の目的や内容について理解しているか。   | レポート<br>質疑応答                         |

# 科目「果樹」

沖縄県立久米島高等学校

|         |        |              |             |
|---------|--------|--------------|-------------|
| 単位数:2単位 | 学年:3学年 | 教科書:果樹(実教出版) | 年間授業時数:70時間 |
|---------|--------|--------------|-------------|

## 1 学習の目標

- (1)果樹に対する、興味・関心・意欲を育てる。
- (2)品質と生産性の向上及び経営の改善を図る能力と態度を育てる。
- (3)実習などの体験的な学習を通して、果樹の特性や果実の生産に適した環境を理解させる。
- (4)果樹生産と経営に関する知識と技術を習得させる。

## 2 学習の進め方

- (1)実習を通して果樹類は種類や品種によって、異なった管理方法があることを学ぶ。
- (2)果樹園並びに鉢物作物における枝の生長、果実の収量、品質との関係を知る。
- (3)各種果樹を使用して、観察実験を繰り返し、ノートにまとめる。

## 3 学習する上での留意点

- (1)農業機械や器具の名称及び取り扱い方を学ぶ。
- (2)薬品類の名称や取り扱い方をしっかりと学習する。
- (3)専門用語やその意味をしっかりと学習する。
- (4)実習の際は実習着を着用し、ケガや事故の無いよう注意します。

## 4 課題・補習について

観察実験ノートの提出を毎学期末に実施します。また、成績不十分の場合、課題の提出などを実施します。

## 5 評価の観点・方法について

| 評価の観点    | 内 容  | 評 価 方 法                              |
|----------|--|--------------------------------------|
| 関心・意欲・態度 | ①植物の持つ能力に興味・関心が高く、意欲的に取り組んでいるか。<br>②実習に主体的に参加し、意欲的に取り組んでいるか。<br>③農業機械・器具類の取り扱いと片づけができているか。<br>③他生徒と協調性をもって実習に望んでいるか。 | 学習用具の準備<br>授業への取り組みや態度<br>学習記録用紙への記入 |
| 思考・判断・表現 | ①果樹栽培の課題を科学的に捉え、考察し、判断することができるか。   | 観察実験ノート                              |
| 技能       | ①実験機器・器具の取り扱いが適切であるか。<br>②果樹の基礎的な栽培管理技術を身につけているか。  | 農業機械・器具類の取り扱い方<br>実技試験               |
| 知識・理解    | ①果樹の栽培技術、生育の環境要因に関する知識・理解を身につけているか。<br>②果樹の特性や活用方法、品質と生産性の向上について基礎的な知識を身につけているか。                                     | 中間考査<br>期末考査                         |

# 科目「生物資源」 沖縄県立久米島高等学校

|         |        |             |
|---------|--------|-------------|
| 単位数:2単位 | 学年:3学年 | 年間授業時数:70時間 |
|---------|--------|-------------|

## 1 学習の目標

- (1)作物栽培など生産し、その生産物を幅広く活かす6次産業に繋げる。
- (2)品質と生産性の向上及び経営の改善を図る能力と態度を育てる。
- (3)農産物の貯蔵、加工技術を習得させる。
- (4)貯蔵・加工技術の改良・開発によって多種多様な加工品が作られ、食生活を更に豊かにしていることを理解させる。

## 2 学習の進め方

- (1)実習を通して作物の品種等によって、異なった栽培・管理方法があることを学ぶ。
- (2)実習を通して作物の品種等によって、異なった加工・販売方法があることを学ぶ。
- (3)六次産業化(栽培・加工・販売)の一連の流れを学ぶ。

## 3 学習する上での留意点

- (1)加工機器や器具の名称及び取り扱い方を学ぶ。
- (2)専門用語やその意味をしっかりと学習する。
- (3)実習の際は実習着を着用し、ケガや事故の無いよう注意する。

## 4 課題・補習について

実習プリントや調べ学習プリントの提出を不定期に実施します。また、成績不十分の場合、課題の提出なども実施します。

## 5 評価の観点・方法について

| 評価の観点    | 内 容  | 評 価 方 法                              |
|----------|--|--------------------------------------|
| 関心・意欲・態度 | ①生産物加工に興味・関心が高く、意欲的に取り組んでいるか。<br>②実習に主体的に参加し、意欲的に取り組んでいるか。<br>③加工機器・器具類の取り扱いと片づけができているか。<br>③他生徒と協調性をもって実習に臨んでいるか。 | 学習用具の準備<br>授業への取り組みや態度<br>学習記録用紙への記入 |
| 思考・判断・表現 | ①六次産業化の課題や解決策を考察することができるか。   | 実習プリント                               |
| 技能       | ①加工機器・器具類の取り扱いが適切であるか。<br>②基礎的な栽培管理技術、加工技術を身につけているか。   | 加工機器・器具類の取り扱い方<br>実技試験               |
| 知識・理解    | ①作物の栽培技術、生育の環境要因に関する知識・理解を身につけているか。<br>②作物の特性や活用方法、品質と生産性の向上について基礎的な知識を身につけているか。                                   | 中間考査<br>期末考査                         |